

ペーパン川・倉沼川災害対策連絡協議会 現地調査 議事概要（公表）

日 時	平成30年8月20日（月）13：00～15：10
場 所	JA 東旭川3階大ホール及び現地
出席者	出席者一覧表を参照
説明者	事務局 上川総合振興局 局長 佐藤 卓也

1 開 会

2 挨 拶

○佐藤上川総合振興局長 挨拶

○出席者紹介

○冒頭挨拶

- ・長谷川参議院議員
- ・旭川市 西川市長
- ・東川町 松岡町長

3 議 事

(1) これまでの経過等について

○資料について説明（事務局）

(2) 質問・意見等

【被災後の対応等について】

（意見等）

- ・今回の被災後の取組の進め方が早いと感じている。
- ・旭川建設管理部にはスピード感をもって要望した復旧箇所の緊急的な対応をしてもらっている。
- ・連絡協議会の設置という協力体制ができた迅速な対応に感謝する。

【河川の災害復旧及び川幅を広げるなどの河川整備】

（意見等）

- ・ペーパン川については、河川改修が途中で止まっているため、ペーパンダムから下流まで支川を含めた全面的な改修をお願いする。
- ・ペーパン川における機能向上を図る復旧工法は、我々が期待していたものであり、安心安全な地域にしてほしい。また、堤防ができることを前提とすれば、樋門・頭首工等の付帯構造物の改築も必要となるが、同時に工事を進められることを要望する。

- ・倉沼川では大きく決壊したところが3箇所あり、他にも危険な箇所がある。また、河床高が上がっていることなどから、堤防を含めて対策を進める必要があるため、早急な河川工事に向けて皆様の協力を要望する。
- ・用地問題は長年の課題であるが、農協等の協力を得ながら代替地の用意等の対策が必要である場合には、地域の協力をお願いしたい。
- ・ペーパン川については、2年前の災害と同じ場所で被災しているため、原形復旧だけでなく、国土強靱化に絡めて予算を確保していかなければならない。
- ・長期的な対応については、ダムが満砂状態で放置されていることや、樋門樋管、農業用施設の老朽化の問題もあることから、関係団体と意思疎通して進めていく必要がある。

(回答)

- ・国が災害査定の一簡素化等の対応を実施していただいたため、倉沼川において、早期の災害査定の実施、工事着手することができた。
- ・ペーパン川については、機能向上を図る堤防整備に向けて、4年程度で下流の改修を進められるよう国と協議中である。
- ・これまで河川整備が進められなかった用地確保等の課題について、地域一体となって解決していきたい。

【農地の復旧等】

(意見等)

- ・堤防新設に応じた、農地の弾力的な整備を望む。
- ・農地の被害が大きかったが、激甚災害に指定されたことで、農業者等の負担が小さくなるため、ほっとしている。
- ・生々しい現場を見て、来春の営農に支障のないよう進めていきたいと感じた。
- ・意欲的な後継者が挫折しないよう、協力して農業の発展に貢献したい。

(回答)

- ・農地の災害復旧については、査定前着工を含めて早急に整備を進めていきたい。
- ・来春の営農に向けて、皆様と協力しながら、計画的にスケジュールを立てて進めていきたい。

【その他】

(意見等)

- ・山から流れてくる支川にダムがあるが、現在は、土砂で埋まっている。今後土砂災害の危険がないのか心配であり、道に調査してほしい。
- ・既設ペーパングダム（農業ダム）に洪水調節機能を設けられないか、検討を望む。
- ・国管理河川は土嚢やポンプなど手を打っていたことを評価したい。ペーパン川・倉沼川においても来年の洪水期に水が再度溢れることがないよう、国の支援を検討願う。

- ・協議会という形で定期的に意見交換を行っていくべきである。

(回答)

- ・ペーパンダムへの洪水調整機能の付加は、容量が小さく難しい。
- ・地域の意見を聞くために、協議会という形ではないかもしれないが、対応を考えていく。

4 現地調査

(1) 倉沼川 五月橋付近

(2) ペーパン川 五月橋付近

(意見等)

- ・建設管理部と旭川市の説明がそれぞれ異なる場合があるため、道と旭川市は、しっかりと連携するようお願いする。
- ・河川の災害復旧の形を示してもらえれば、その箇所を外して、農地復旧を行えば無駄の無い整備になると考える。堤防を優先的に整備してほしい。
- ・耕作地が小さい箇所も多いため、まとめて道営・国営の農地改良事業を実施してほしい。
- ・地元住民にも協議会の内容を伝えてほしい。
- ・こうした地域の声を聞くためには小委員会形式で協議することも考える必要がある。
- ・農地の活用等についても行政と地域住民の意見交換が必要である。

(3) ペーパン川 福島橋付近

(意見等)

- ・福島橋から上流3 km地点(喜楽橋付近)において緊急的な対応をしてない箇所もある。また、管理用道路がないので、重機が通れる4 m幅の堤防が必要。堤防を整備して水が溢れないようにしてほしい。
- ・伐木されていない箇所もあるので、まずは木を切ってもらうことが一番良い。
- ・頭首工の高さが高い部分もあり、堤防を整備する際には留意が必要である。
- ・原形復旧ではまた災害に遭う可能性がある。
- ・行政のみで事業を決定するのではなく、地元と協議が必要である。
- ・小委員会等を立ち上げ、地域と意見交換ができるような体制づくりを進める必要がある。

5 閉会